

災害が起こったとき、卵・牛乳・小麦・大豆などの食品にアレルギーの子どもたちは
乾パンなどの備蓄食品を配給されても食べることができません・・・
断水や粉塵によって、喘息やアトピー性皮膚炎の悪化も懸念されます・・・

～ 災害時にアレルギーの子どもたちは？ 東海・東南海地震にどう備えるか ～

「アレルギー児の防災について阪神大震災の教訓に学ぶ・・・」

<プログラム>

1. 日 時：平成20年1月27日(日) 開 場12:30
13:00 ～ 16:30

2. 会 場：四日市市文化会館 第4ホール
(四日市市安島2-5-3 TEL059-354-4501)

3. 講 演：

- ・ 木 村 彰 宏 (神戸医療生協 いたやどクリニック院長・食物アレルギー専門医)

「阪神大震災の時、アレルギー児は・・・」

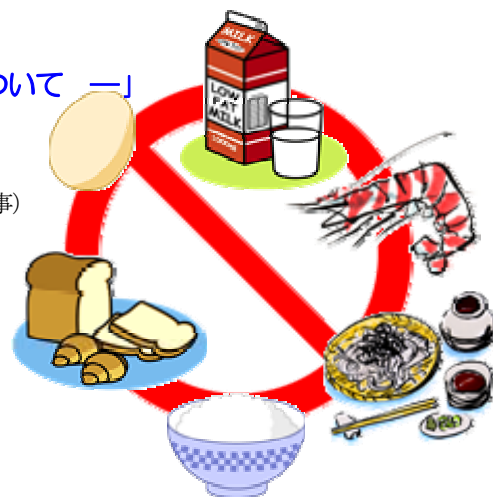
— 災害時にアレルギー児がおかれる状況とその対策について —

- ・ 栗 木 成 治 (NPO法人アレルギー支援ネットワーク理事)

「阪神・中越・能登震災から私たちが学ぶもの」

- ・ 石 田 尚 弘 (四日市市総務部防災対策課主幹)

「四日市市の防災対策について」



※ 講演に参加ご希望の方は、電話予約が必要です。/チケット有 (申込締切 12/27)

※ 資料代：300円

- ・ 主 催 & 連絡先：あれるぎっこおひさまの会四日市
(浅 川) TEL & FAX: 059-345-2390
- ・ 後 援：四日市市/四日市市教育委員会/四日市市社会福祉協議会
- ・ 協 力：アレルギー支援ネットワーク/東海アレルギー連絡会
- ・ 本事業は、三重県ボランティア基金による補助金を受けて行われます。